

どこシル伝言板

認知症等で道に迷った際の早期発見・保護につながるシステム

“発見～保護～ご帰宅”まで 安心、安全、迅速に



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

自分の居場所や帰り道などが分からなくなっているかもしれません

ご本人

認知症と周囲にばれたくない

目的地を忘れて困っているだけ

無事に目的地（家）に行きたい

ご家族



発見者側

この方は認知症なのか？

発見者はどう対応するの？

発見者の不安事の解消は？

洋服や杖などに、どこシル伝言板の「みまもりシール」を貼っている高齢者を見かけたら、声をかけてください。

（こどもは、無理をせず、親や近くの大人に伝えてください）

金武町

シル

どこ

伝言板



大人も子どもも、見てみよう！

耐洗ラベル

金武町



衣服等にアイロンで貼付けます

蓄光シール

金武町



持ち物等に貼る暗闇で光るシール

24時間365日OK

夜間も伝言板を通じてやりとりが可能。登録した方へ瞬時に発見通知メールが届きます。

個人情報の記載不要

氏名・住所・連絡先の記載は不要なので安心です。

耐洗ラベル(アイロン可のもの)



右上腕部



背面 襟元

蓄光シール(アイロン不可のもの)



バッグ(内側)



バッグ(内側)



ナイロン素材



杖

色々なところに貼られている可能性があります

見守りシールを発見した場合

①見守る

危険な状況でないか、近くに家族などいないか、さりげなく様子を見守ります。
ジロジロ見たりするのは良くないです。

②“3つのないプラス1”を使って、相手目線での声掛けをします。

耳が聞こえにくい方もあるので、ゆっくり、はっきりとお話します。



③声かけの結果、しっかりした答えがなかったり、近くにその方の家族などがいない時には、QRコードを読み取りをお願いします。

どこシル伝言板につながり家族と連絡を取ることができます。

緊急と思われる場合は警察、消防に電話してください

① 夜にひとり
いるとき



110番



② ケガをしているとき



119番

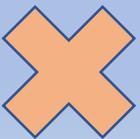


☆声のかけ方は、“3つのない”をポイントに☆

①驚かせない

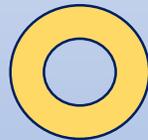


相手の前や横に行き、気づいてもらいます。



後ろから声をかけるとびっくりしてしまいます。

②急がせない



声をかけるときは余裕をもって、ゆっくり声をかけます。



早口で質問してすぐに返答を求めたり、一度に多くの事を質問するとうまく答えられない場合があります。

③自尊心を傷つけない



自尊心とは、自分自身を大切にしている気持ちです。本人の気持ちを無視したことも扱いや、過度な手助けも自尊心を傷つけてしまいます。

☆“3つのないプラス1”で、相手目線の接し方に☆



④ 否定しない

相手がどこに行きたいのかを優しく聞き取ります。
話をしっかり聞いていることを表情や身振りを使うと相手に伝わりやすいです。



認知症になっても高齢者になっても「目的」はあります。
ひとりでも多くの人に「**どこシル伝言板**」を知ってもらうことで、
見守りの目が多くなり、シールを貼った人が行方不明になったり、
事故にあうことを防ぐことができます。

●接する時の基本姿勢●

